

解析学概論 解答例

2012.06.25

問1 $X = \mathbb{N}_0 \times \mathbb{N}_0$ 上の二項関係 \sim を

$$(n, m) \sim (n', m') \iff n + m' = m + n'$$

により定義するとき、 \sim は X 上の同値関係であることを示せ。また、同値関係 \sim に関する (n, m) を代表元とする同値類を $[(n, m)]$ と表すとき、各 $n \in \mathbb{N}_0$ に対して同値類 $[(n, 0)]$ および $[(0, n)]$ を内包的記法を用いてできるだけ簡単に表現せよ。

(解) \sim が同値関係であること (i) 交換法則より $n + m = m + n$ となるので、 $(n, m) \sim (n, m)$ が成り立つ。(ii) $(n, m) \sim (n', m')$ とする。定義より $n + m' = m + n'$ であるから、交換法則より

$$n' + m = m + n' = n + m' = m' + n$$

となり、定義より $(n', m') \sim (n, m)$ が成り立つ。(iii) $(n, m) \sim (n', m')$ かつ $(n', m') \sim (n'', m'')$ とする。定義より $n + m' = m + n'$ かつ $n' + m'' = m' + n''$ であるから、結合法則と交換法則より

$$\begin{aligned} (n + m'') + m' &= (n + m') + m'' = (m + n') + m'' = m + (n' + m'') \\ &= m + (m' + n'') = (m + n'') + m' \end{aligned}$$

が得られる。簡約法則より $n + m'' = m + n''$ となり、定義より $(n, m) \sim (n'', m'')$ が成り立つ。以上より、二項関係 \sim は X 上の同値関係である。

同値類 $[(n, 0)]$ および $[(0, n)]$ の表現 集合 A を

$$A = \{ [(n + k, k)] \mid k \in \mathbb{N}_0 \}$$

とおくとき、 $[(n, 0)] = A$ であることを示す。任意の $k \in \mathbb{N}_0$ に対して、 $n + k = 0 + (n + k)$ より $(n, 0) \sim (n + k, k)$ であるから、 $(n + k, k) \in [(n, 0)]$ が成り立つ。したがって、 $A \subset [(n, 0)]$ である。また、任意に $(k, \ell) \in [(n, 0)]$ をとる。 $(k, \ell) \sim (n, 0)$ より $k = k + 0 = n + \ell$ であるから、 $(k, \ell) = (n + \ell, \ell) \in A$ となる。したがって、 $[(n, 0)] \subset A$ が成り立つ。以上から、 $[(n, 0)] = A$ となる。同様に、

$$[(0, n)] = \{ [(k, n + k)] \mid k \in \mathbb{N}_0 \}$$

であることが示せる。 ■